



1kobahito



しがらみなし!!
情報公開の徹底!!

区議会レポート

所属委員会: 保健福祉委員会・都市基盤整備特別委員会

疑問
だらけの

サッカースタジアム計画

南葛SC・J1昇格かかわらず進める姿勢に疑問

今年1月に突然、サッカースタジアム建設を前提に新小岩にある私学事業団総合運動場(68,103㎡)を350億円で取得することが明らかになりました。取得後は当面の間運動場として供用されますが、将来サッカースタジアムが建設される見込みです。小林議員は引き続き運動場として活用する分には異論ないとして用地取得に賛成しました。しかし何の議論もなしにサッカースタジアムの整備を進めることには納得できません。ましてや周辺は住宅街であり、騒音や渋滞など生活環境を激変させる事案となるだけに、慎重に進めなければなりません。

区はこれまでも南葛SCを支援し、昇格を見据えて必要な規模のスタジアム整備を検討するとしています。小林議員は整備にあたり、1.昇格の可能性がなくても整備するのか、2.他のJ1チームの誘致は行うのか質したところ「あらゆる可能性を検討する」との答弁でした。否定も肯定もしない答弁からみて、スタジアム整備を既成事実化しようとする区の姿勢を垣間見ました。また、事業主体や採算性など不明な点も多いため今後も議会ですっかり質してまいります。



区が取得を表明した私学事業団総合運動場

・区との主な質疑のやり取り

- Q:** 区が引き続き運動場として利用するという前提であれば、先方は運動場を譲渡しないと言っているのか？
- A:** 将来的にサッカースタジアムを整備する前提で譲渡を判断したという認識である。
- Q:** サッカースタジアムは南葛SCのホームスタジアムとして建設するのか？
- A:** 南葛SCがJ1まで勝ち上がっていくことを見据えて1万5千人規模のスタジアムにする計画だが、南葛SCがホームスタジアムに使うことありき、決まっているということで整備をしていくものではない。
- Q:** 仮に南葛SCがJ1、J2に昇格しなくてもスタジアム構想を粛々と進めていくのか？
- A:** 昇格がなければずっと整備をしないということは考えていない。
- Q:** 仮に南葛SCがJ1、J2に昇格しなかった場合は他のJ1チームを誘致するのか？
- A:** あらゆる可能性を含めて検討していく。

資料: 区が策定したサッカー競技場敷地選定検証報告書▶



【葛飾区】サッカースタジアム計画を巡る不自然な入札

サッカースタジアム計画が今年1月に突然発表されましたが、区内サッカー競技場敷地選定検証業務委託の入札でいくつもの疑問点があることから議会で質しました。

Q: 令和2年から秘密裏に私学事業団と交渉を開始し、早い段階で先方から取得の感触を得ているにもかかわらず、取得を公表する直前に入札を行ったのはなぜか。

A: 具体的な話し合いを進めていけるようになったから。

Q: 指名競争入札で5社参加したにもかかわらず4社が辞退、設計会社のA社1社のみが入札で落札になった理由は何か。

A: 具体的には伺っていない。

Q: 履行期間が1か月しかない状況で、普通に考えたら人の手配など履行が困難ではないか。

A: 業務が遂行できるということで(落札したA社を含め)3社から見積もりを取っている。

この答弁では到底納得できるものではありません。東京オリンピックでは運営業務で談合が行われていた事が明らかになりましたが、これからもサッカースタジアム計画に関する入札・契約についてはしっかり監視してまいります。

10月開設の児童相談所は延期すべき!!

今年10月にこれまで東京都が担ってきた児童相談所が葛飾区に移管し、開設する予定です。一番の問題はこれまで担当した都の職員が区に異動するのではなく、区が独自に人材を揃えなければならない点です。当然経験者も採用しますが、職員の大半は一から育成しなければならず、経験年数の浅さが不安です。実際の配置状況をみると派遣研修で1年程度の職員が半数です。また驚くべきことに、不足する人材を令和5年度の新卒採用で埋めました。特に一時保護所は開設当初43人の配置予定ですが、そのうち14人が新規採用です。さらに準備が進められていく中で、令和4年度には運営準備担当課長・係長といった主要な役職者が急に退職し、さらには一般職でも退職者が出ました。これで一体どのように児童相談所・一時保護所を運営していくつもりなのでしょうか。

3年前には葛飾区で実際に児童虐待に十分に対応できない事案が発生し、検証委員会検証報告書(右のQRコードでご覧できます)で職員体制が不十分であった事が指摘されています。このまま開設したらいつ事故が起きてもおかしくない状況ではないのでしょうか。小林議員は葛飾区に児童相談所を設置することには反対ではありませんが、人材育成が整うまでは延期すべきと議会で主張しました。



葛飾区児童虐待事案
検証委員会検証報告書

●児相に配置される職員の経験年数

経験年数	児童福祉司	児童心理司	一時保護所職員
10年～	2	1	0
5～10年	2	2	0
4～5年	1	0	2
3～4年	0	1	0
2～3年	4	6	9
1～2年	7	6	2
1年未満	8	0	9
未経験	7	4	21
配置人数(合計)	31	20	43



私立保育所パート保育士「補助金誤支給問題」のその後

区が返済分を補助金に上乗せ、結局は税金で返済?

令和5年度予算で保育所運営費として扶助費(使途が限定されない補助金)が約2億3400万円増額しました。子どもが減少する中、保育士の確保など保育所経営を取り巻く環境は厳しいことは理解していますが、保育の質を担保するなら人件費など使途を限定した補助金として増額分を支出すべきです。しかし自由に使える扶助費として支出されるため、誤支給の返済に充てても問題ないことを区も認めています。

そもそも保育所運営の収入はほぼ全て区からの扶助費のため、誤支給分の返済も積立金(積立金もこれまでの扶助費の中から積み立てたもの)か新設園の場合は扶助費の中から支出されることになります。推測ですが、仮にこれまでと同額の扶助費で運営しながら誤支給分を返済するとなると人件費などの運営費にしわ寄せがきて保育の質がおろそかになるため、区は1園あたり200～300万円扶助費を増額してその中から返してもらうことにしたのではないのでしょうか。この私の推論に対し区から論理的な納得できる答弁はありませんでしたが、保育所の損益計算書等の財務諸表を細かくチェックすれば判ると思います。

本来、保育の質を向上させるのであれば、パート保育士等加算ではなく、正規保育士を増員するための補助金を創設して対応すべきです。



●令和5年度に増額した私立保育所の予算項目

	増額分	内容
一般保育所 対策事業費	1億1,128万円	児童1人あたり 1,290円増額
パート 保育士加算	2,904万円	単価区分を廃止し 20時間以上一律 10万4,460円
創意工夫ある 取組加算	4,100万円	
安全対策経費 加算(新規)	5,320万円	1園あたり 一律年額50万円 園庭を備える施設 遊具の点検10万円

皆様のご意見・ご要望を区政へ

葛飾区政に関してご要望・お気づきの点がございましたら、手紙、FAX、メールでご意見をお寄せください。

葛飾区議会議員

小林ひとし

f 1kobahito

連絡先 〒124-8555 葛飾区立石5-13-1

FAX 03-3608-2502

E-mail 1@kobahito.com



アンケート、
インターネット
で募集中!!

左上QRコードから
どうぞ